

行政報告

▼農作物の生育状況等
について

6月1日現在の生育状況等について、今年の春先は、高気圧に覆われ晴れた日が多く、気温は平年よりも高く推移した。また、4月から5月にかけても、一時的に低温の時期もあったが、比較的好天の日が多く、適度な降雨もあり、各作物とも順調な生育状況となっている。

主な作物の生育状況は、秋まき小麦は春先からの好天により、草丈、茎数とも平年並みかやや良で、幼穂形成期は平年より4日早く、出穂期も6日早まっている。馬鈴薯も平年より8日早く植え付けが終わわり、萌芽期も2日早く生育は順調である。てん菜は直播並びに移植栽培ともに出芽、活着は良好で、生育は順調であ



出芽した小豆

る。播種作業も平年並みに始まった大豆・小豆の出穂期は平年並みとなっており、にんにくについても、生育は順調である。一方、飼料作物においても、牧草は、好天の影響もあり生育は順調で、まもなく一番草の収穫が始まる見込みである。また、サイレージ用トウモロコシも播種作業は平年並みに終了し、生育も平年並みとなっている。

条例改正

▼町税条例の一部を改正する条例

令和6年度税制改正による地方税法等の一部を改正する条例が令和6年3月30日に交付され、町税条例の改正が必要になることから改正するもの。

【全員賛成で可決】

▼清水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の「子どもミライ戦略方針」において、幼児教育・保育の質の向上を目的とした保育所型事業所内保育事業所（※現在本町にはない）における満3歳以上児の職員配置基準の改正が令和6年4月1日から施行され、条例の改正が必要になることから改正するもの。

【全員賛成で可決】

補正予算

▼一般会計補正予算（第1号）

既定予算に1億403万3千円を追加し、予算総額を88億836万3千円とする。

主な補正内容は、人事異動による人件費ほか、自治体中間サーバー・プラットフォーム更新負担金、施設修繕料（福祉館分）、介護保険特別会計繰出金、保健福祉センター加圧給水ポンプ更新工事、国庫道費補助金返還金（住民税非課税世帯等生活支援給付金事務）、定額減税補足給付金、予防接種委託料（新型コロナウイルスワクチン分）、牧場作業車両事故解決金、消防団員大型自動車免許取得業務委託料、授業目の公衆送信使用料、図書館資料購入費など。

【全員賛成で可決】

▼一般会計補正予算（第2号）

既定予算に7160万円を追加し、予算総額を88億8003万3千円とする。

主な補正内容は、給与問題に係る訴訟等弁護士委託料、職員給与損害賠償請求控訴事件解決金ほか、事務事業用消耗品費（観光振興事業）、施設用備品（アイスアリーナ等施設運営事業）など。

【全員賛成で可決】

▼国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

既定予算から10万7千円を減額し、予算総額を12億7889万3千円とする。

内容は、人事異動による人件費の減額。

【全員賛成で可決】

▼後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）

既定予算に157万2千円を追加し、予算総額を2億1257万2千円とする。

内容は、人事異動による人件費の増額。

【全員賛成で可決】

▼介護保険特別会計補正予算（第1号）

既定予算に73万1千円を追加し、予算総額を12億823万1千円とする。

内容は、人事異動によ



国立公園指定の垂れ幕

審議結果

る人件費の増額。
【全員賛成で可決】

▼水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収支について、支出を166万1千円を増額し、支出予算総額を2億5706万1千円とする。

内容は、第2浄水場の砂取器修繕のため増額。

【全員賛成で可決】

▼下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収支について、支出から34万9千円を減額し、支出予算総額を3億5045万1千円とする。

内容は、人事異動による人件費の減額。

【全員賛成で可決】

その他の議案

▼工事請負契約の締結(3件)

【工事名】 北斗橋橋梁修繕工事

【方法】 指名競争入札

【契約金額】 5962万円

【契約の相手方】 田村建設株式会社

【全員賛成で可決】

【工事名】 下佐幌基線北

道路舗装改修工事

【方法】 指名競争入札

【契約金額】 1億560万円

【契約の相手方】 北洋道

路株式会社清水支店

【全員賛成で可決】

【工事名】 西都団地公営

住宅建設工事

【方法】 指名競争入札

【契約金額】 6193万円

【契約の相手方】 有限会

社秋島建設

【全員賛成で可決】

▼損害賠償請求事件の和解及び損害賠償の額の決定について

令和4年9月、町職員

の運転する車両が清水町

字清水第8線117番地

の国道274号と道道55

号の交差点において、後

方に停車していた車両に

接触したことによる損害

賠償。

【全員賛成で可決】

▼訴訟上の和解について

職員4名から控訴され

訴訟手続きをしていたと

ころ、札幌高等裁判所か

ら和解勧告が出され、和

解案を双方が受け入れる

こととなったため。

【全員賛成で可決】

※詳細は2ページをご覧

ください。

▼清水町過疎地域持続的発展市町村計画の変更

計画策定後に実施する

事業内容の変更と、令和

4年3月に改定した公共

施設等総合管理計画との

整合性を図るため、関係

する本文を変更。

【全員賛成で可決】

▼北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更

【全員賛成で可決】

人事案件

▼副町長の選任について

山本司さん(下佐幌北

栄)を副町長に選任(再

したい旨の町長提案があ

り、記名投票の結果、賛

成多数で議会は同意しま

した。

▼人権擁護委員候補者の推薦について

菅野靖洋さん(奉賛)

を推薦したい旨の町長提

案があり、議会は「適任」

としました。



山本 司 さん



菅野 靖洋 さん

副町長選任議案の採決

副町長の選任同意議案の採決は「記名投票」で行われ、賛成6票、反対5票(無効1票)の賛成多数で可決されました。

議案の採決方法は、「簡易」「起立」「投票」の3種類がありますが、どの方法を行うかは、定例会開会前に行われる議会運営委員会での協議結果を基に議長が判断しています。

「起立」採決を宣言した議長に対して、「記名投票」(投票者の氏名を記すもの)と「無記名投票」(投票者の氏名を記さないもの)の両方の要求があったため、「無記名投票」で諮った結果、賛成多数で「記名投票」での採決となりました。

※会議規則により、投票による表決において、「賛否を明らかにしない投票及び賛否が明らかでない投票は、否とみなす。」ことになっています。また、記名投票において、自己の氏名の無いもの及び議長が立会人の意見を聞き判断したものは「無効」となります。

請願審査の結果

6月定例会前に受理した町民からの請願は3件でした。
常任委員会に審査を付託した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査委員会	委員会結果	本会議での結果と措置
厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める請願	清水町農民連盟 執行委員長 高田 秀昭	総務産業	採 択	採 択 意見書を提出
2025年度地方財政の充実・強化に関する請願	日本労働組合総連合会北海道連合会 清水地区連合会 会長 佐々木 隆徳	総務産業	採 択	採 択 意見書を提出
2024年度北海道最低賃金改正等に関する請願	日本労働組合総連合会北海道連合会 清水地区連合会 会長 佐々木 隆徳	総務産業	採 択	採 択 意見書を提出

意見書

▼厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書
(一部抜粋)

改正基本法で掲げる食料安全保障の確保が果たされるよう、国内の農業生産の増大を基本に、生産基盤の維持・強化、担い手の育成確保などの予算を拡充すること。
国民への理解醸成を前提とした適正な価格形成については、生産コスト上昇分を一方的に消費者に負担させるのではなく、国も一定程度負担を担い、生産費等が反映できるように法制化を進めること。

▼2025年度地方財政の充実・強化に関する意見書(一部抜粋)

社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、現行水準以上のより積極的な地方財源の確保・充実をはかること。
子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズへの対応と、地方単独事業分含め、十分な社会保障経費の拡充をはかること。

▼2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(一部抜粋)

賃金構造基本統計調査の北海道における短時間労働者の平均時間額や民間の求人時間額などを参考として、最低賃金を大幅に引き上げること。
設定する最低賃金は、道内高卒初任給時間換算額「時間額1078円」を下回らない水準に改善すること。
賃上げの原資確保のため、公正取引を促す「パートナースhip構築宣言」の宣言企業拡大を進めると同時に、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を推進し、最低賃金の大幅引き上げを図ること。

▼ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業の充実強化を求める意見書
(一部抜粋)

地球温暖化や山地災害の防止など森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、適切な間伐や伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。

※北海道町村議会議長会からの要請に基づく意見書の提案

【4件全て全員賛成で可決、関係機関に送付】